

月次売上情報

2025年5月期 店頭販売実績

(単位:前年比)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期累計
日本	日本計	103%	95%	97%	103%	104%		100%
	店舗	104%	95%	99%	101%	105%		101%
	EC	100%	95%	90%	108%	102%		98%
	日本既存店	102%	94%	95%	100%	103%		99%
	店舗	102%	94%	97%	98%	103%		99%
	EC	101%	95%	89%	109%	105%		99%
韓国	韓国計	91%	81%	84%	80%	88%		85%
	店舗	92%	79%	82%	75%	85%		83%
	EC	84%	88%	94%	119%	110%		99%
	韓国既存店	91%	80%	83%	79%	86%		84%
	店舗	92%	79%	81%	73%	83%		82%
	EC	85%	87%	94%	118%	109%		99%
合計	日本・韓国計	97%	87%	90%	89%	95%		92%
	店舗計	98%	86%	89%	85%	93%		91%
	EC計	94%	92%	92%	113%	105%		99%
	既存店計	96%	86%	88%	88%	93%		91%
	店舗計	97%	85%	88%	83%	91%		89%
	EC計	95%	92%	91%	113%	107%		99%

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期累計	通期累計
日本	日本計								100%
	店舗								101%
	EC								98%
	日本既存店								99%
	店舗								99%
	EC								99%
韓国	韓国計								85%
	店舗								83%
	EC								99%
	韓国既存店								84%
	店舗								82%
	EC								99%
合計	日本・韓国計								92%
	店舗計								91%
	EC計								99%
	既存店計								91%
	店舗計								89%
	EC計								99%

(5月の店頭販売概況)

日本では、「イル ビゾンテ」で高単価な折り財布とバッグが売上を牽引したのに加えて、機能素材を使ったコラボレーションアイテムが好調に推移しました。「マリメッコ」ではウニッコ柄をプリントしたニットバッグを中心に新作バッグカテゴリーが売上を押し上げた結果、休日数が前年より1日多かったこともあり、5月全体では店舗・ECともに前年同月を上回りました。

韓国では、国内の政情不安が少しずつ落ち着いてきましたが、いまだ百貨店の本格的な集客の回復は遅れています。アウトレットとECにおいては、月後半から始まったブランドセールが後押しとなり、セール販売が堅調に推移したものの、為替レートの変動によるマイナス影響で、5月全体では前年実績を下回って終了しました。

以上の結果、5月単月の日本・韓国の合計は、前年比95%（店舗93%、EC105%）、既存店の前年比94%（店舗92%、EC107%）となりました。

- (注) 1、 上記のデータは、当社グループの月次で集計可能な国内・韓国における実店舗及びオンラインショップでの販売実績(小売価格)に基づいています。
- 2、 韓国における販売実績は、期中平均の為替レートを使用して円換算しています。